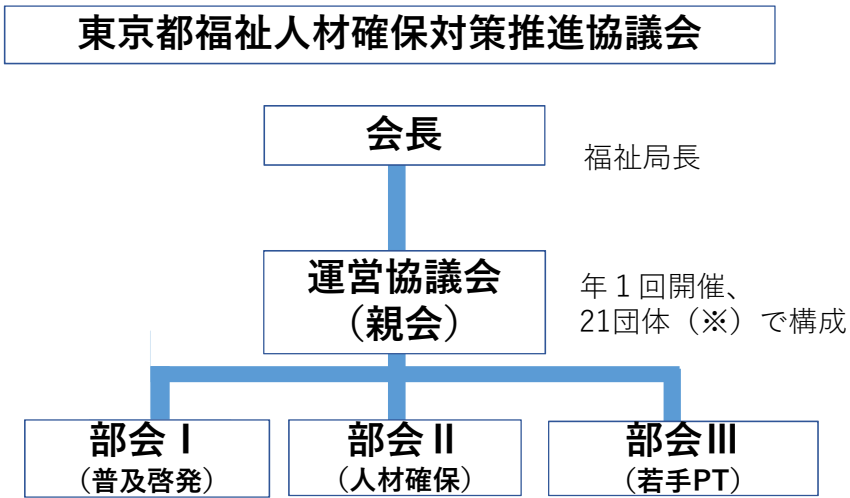


目的・概要

- 急速に進展する少子高齢化の中で、増大する福祉ニーズに的確に対応するには、**福祉人材の確保・育成・定着**を分野横断的に一体となって取り組んでいくことが必要
- **区市町村や事業者、養成施設や支援機関等が参画し**、福祉人材の確保・育成・定着に向けた取組の方向性や具体策を検討し、**施策の推進に繋げる**とともに福祉人材の魅力を発信

組織体制



(※) 運営協議会構成団体			
事業者 団体等	(一社)シルバーサービス振興会	関係団体	(公財)介護労働安定センター東京支部
	(社福)東京都社会福祉協議会 (関係業種別部会等)		(公財)東京しごと財団
	(一社)東京都老人保健施設協会		東京都シルバー人材センター連合
	(一社)『民間事業者の質を高める』 全国介護事業者協議会		(公財)東京都福祉保健財団
職能団体	(公社)東京社会福祉士会	行政	東京ボランティア・市民活動センター
	(一社)東京精神保健福祉士協会		特別区福祉主管部長会
	(公社)東京都介護福祉士会		東京都市福祉保健主管部長会
	日本ホームヘルパー協会東京都支部		町村会
養成施設 団体	(一社)全国保育士養成協議会	行政	東京労働局職業安定部
	(公社)日本介護福祉士養成施設協会		東京都 (福祉局・産業労働局・ 生活文化スポーツ局・教育庁)
	関東信越ブロック協議会東京部会		
	(一社)日本ソーシャルワーク教育学校連盟		

R6取組のポイント

【運営協議会】

福祉の魅力発信を一層推進していくため、参画団体の皆様にも**情報発信等にご協力をいただき、ムーブメントを創出**

【専門部会】

- ・ 課題が多様化していることを踏まえ、**複数の部会を設置**し、それぞれの部会で議論を展開
- ・ 現場を支える**実務担当者も交えた**意見交換・議論を展開
- ・ R6年度は「**普及啓発部会**」、「**人材確保部会**」、「**若手PT**」の**3部会体制**で実施

R6取組詳細（運営協議会）

東京都福祉人材確保対策推進協議会として行う以下の取組につき、参画団体の皆様にも情報発信等にご協力をいただき、多様な主体が連携して福祉人材の魅力を発信するムーブメントを創出

① 福祉人材集中PR期間の創設（11月実施）

- ☞ 福祉人材の魅力発信素材を、構成団体がWEB上で一斉にPR
- ☞ 民間企業等とも連携し、入職のキーマンとなるキャリア担当教員や保護者層へ訴求

② 就活イベントへの出展

- ☞ 福祉業界のイベントだけでなく、一般企業が集合するイベントにも出展

③ 大学主催のキャリアセミナー等への参画

- ☞ 大学側の聴講ニーズに応じてオーダーメイド型で参加団体を調整

R6取組詳細（専門部会）

以下の3部会を設置し、それぞれの部会で意見交換・議論を展開

普及啓発 部会	【テーマ】福祉業界全体のイメージアップ 東京都福祉人材確保対策推進協議会として、参画団体が一体となって <u>福祉人材集中PR期間にムーブメントを起こす</u> ための議論を行う
人材確保 部会	【テーマ】次世代の福祉人材確保 コロナ禍で減少した主に中高生の学校教育における <u>地域の当事者や福祉の実践者との直接的な関わりを充実</u> させるための取組を検討
若手PT	【テーマ】若手職員の視点を、福祉人材確保対策(普及啓発含む)に反映 <u>就活イベント等への出展</u> に向け、求職者に対して、福祉の仕事を身近なものとして印象付けるために、どのようなアプローチが効果的か等について検討

(参考) 各専門部会の構成団体

普及啓発部会

- 東京都高齢者福祉施設協議会
- 保育部会
- 知的発達障害部会
- 『民間事業者の質を高める』全国介護事業者協議会
- 東京社会福祉士会
- 東京都介護福祉士会
- 東京労働局
- 市
- 町村

人材確保部会

- 東京都介護保険居宅事業者連絡会
- 児童部会
- 身体障害者福祉部会
- 区市町村社会福祉協議会部会
- 東京都老人保健施設協会
- 全国保育士養成協議会
- 日本介護福祉士養成施設協会
関東信越ブロック協議会 東京部会
- 日本ソーシャルワーク教育学校連盟
- 東京ボランティア・市民活動センター
- 特別区
- 都立赤羽北桜高等学校 ※オブザーバー

若手PT

- 東京都高齢者福祉施設協議会
- 東京都介護保険居宅事業者連絡会
- 知的発達障害部会
- 身体障害者福祉部会

※若手職員は入職3年目～5年目までの職員を想定。